

1 実施日 令和6年11月22日（金）14:00～16:00

2 出席者

(1) 協議会委員（五十音順）

柏原 泰和（川西地区青少年健全育成協議会会長）

川端 康寛（三島高等学校同窓会長）

林 武文（関西大学教授）

松葉 祐治（高槻市立郡家小学校校長）

藤原 崇（三島高等学校PTA会長）

堀田 好江（高槻市立第二中学校校長）

(2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、廣澤洋二首席、一馬愛首席、古謝伸二事務長

3 議題

(0) 6限の授業見学

9月開催の文化祭のステージ発表とクラブ紹介の動画を鑑賞した後、以下の議題についての審議を行った。

(1) 授業見学について

(2) 文化祭について

(3) 学校経営計画の進捗状況について

(4) 教科書選定理由書について

4 委員からの指摘提言

(1) 授業見学について

- ・少人数制の授業があり工夫されていた。
- ・ICTの利用には個人差があるようだが、アクティブラーニングを取り入れているのがよかった。
- ・ICTの工夫がされていた。どうスキルの差を埋めていくかが課題。
- ・ベテランの先生の授業で、専門性を高めながらわかりやすくする工夫がされていた。
- ・先生方の工夫が感じられた。1年生から3年生まで見たが、3年生は緊張感が感じられた。
- ・毎回見るたびにICTがスキルアップされており、効果的に使用されていた。
- ・ICT化が進むのは良いが、授業が画一化してはいけない。

(2) 文化祭ステージ映像・クラブ紹介動画について

- ・自分たちで考えてやっているところが良い。
- ・動画を作るスキルがすごい。水泳部が人数も増えて活発化している。
- ・文化祭を見たが、制約もある中で工夫していた。さらに地域にオープンにしていけたら。
- ・プレゼンの能力もあがってきていて、自分たちで作っているところがよかった。
- ・交流会でも生徒たちの明るい様子がよかった。クラブも元気溍溍で、顧問の丁寧な指導があると思う。
- ・映像作成も自分たちで学びながらやっているところが良い。

### (3) 学校経営計画の進捗状況について

- ・ネットの影響もあり、小学生でも LINE を使用。目の健康も含めネットの悪影響は、大人が考えていかなければならない。
- ・2学期に遅刻が増えた原因は何か。生徒本人にも考えさせ、家庭とも連携する必要がある。
- ・ロゴのデザインやたたき台を作れば AI が活用できる。先生の授業も作業効率化につながるのではないか。何を簡素化して何を重視するか。アクティブラーニングなども含めて、考えていければと思う。
- ・コロナで活動が制限されていたので、小学校ではいまだに前を向いて給食食べる子もいる。自分たちの活動を支えてくれる学校に行きたい。文化祭の様子も自由度などを見ている。
- ・多くの生徒が、英検 CBT を含め、様々な英語資格にチャレンジしていると思う。
- ・小学校でも AI を利用していけるのではないかと思うことがある。基本的なことは丁寧に指導するが、授業準備が一番時間を占めているので、業務改善の面でも活用できるのではないか。
- ・英検の代わりに海外交流人数や、留学生受け入れ状況などを指標にすることもできる。Face to Face のコミュニケーションでは英語力が必要なので。
- ・AI を社会に出てからどう使うのか、何にどう使うのか、を議論するべき。

### (4) 教科書選定理由書について

小中学校は義務教育で無料だが、高校では全額自己負担。デジタル教科書など価格上昇傾向にある。

- ・電子ジャーナルは複数揃えると数億円にも。デジタル化は、誰でも使えて便利だが、コストパフォーマンスの点で問題に。